



●あし JR東京駅から新幹線、北陸線
を乗り継ぎ、敦賀駅まで約3時間。
敦賀駅からJR小浜線で三方駅まで
約30分。
●問い合わせ 若狭三方五湖観光協会＝
☎0770・45・0113。
<http://www.yomiuri.co.jp/tabi/>

旅

三方五湖

(福井)

山梨が初任地だったこと
もあり、富士五湖には何度
も出かけたが、こちらの五
湖は知らずにいた。
知人に教えられて地図を
開くと、富士山のふもとの
五湖とは対照的に、海のそ
ば。しかも東西、南北とも
に5〜6kmの狭い地域
に湖が集まっている。複雑

多彩な水面 魚介の宝庫

な地形が織りなす景観と、
湖や海の幸を目当てに、若
狭路に向かった。
オバマ米大統領誕生で注
目を集めた小浜市へ至るJ
R小浜線を三方駅で下車。
タクシーで有料道路「レイ
ンボーライン」に入ると、
運転手さんの案内に思わず
耳を疑う。山道を上りなが
ら「左が日本海。右が湖」
と教えられたかと思うと、
次に反対、前にも後ろにも
湖が出没する。これじゃあ
三方どころか四方が湖じゃ
ないか。湖、海、山が入
り組んだ地形に方向感覚を
失った。

湖によって塩分濃度が異
なり、夕暮れ時は湖面が色
とりどりに輝くという説明
にうなずくうちに到着した
のは、レインボーラインの
中程にある梅丈岳(標高
395.5m)。ケーブルカー



「恋人の聖地」として名高い山頂公園には永遠の愛を誓う鍵がスラリー

に乗ると、見晴らしの良い
山頂公園に出た。あいにく
の曇り空だが、五つの湖が
眼下に広がるパノラマは雄
大そのものだ。
公園は「恋人の聖地」と
しても名高い。二人でロッ
クすれば永遠の愛が成就す
るといふ「誓いの鍵」が至
る所にかかれている。訪
れたのは、ちょうど土用の
丑の日。京都から彼氏と一
緒に名物のウナギを食べに
来た加茂直美さん(38)は、
「次に来た時、分かんない
から」と、目印の5円玉の
穴に通して鍵をかけた。こ
縁も、さぞ深いことだろう。
恋には長らく縁のない記
者は山を下り、水月湖畔の
温泉宿へ。全室
オーシャンビュー
ならぬレイク
ビュー。雨が降
り出し、期待し
た夕暮れは見ら
れなかったが、
霧にけがる湖も
風情たっぷり
だ。夕食はスズ
キの天ぷら、翌
日の朝食はシジ
ミのみそ汁と、
湖で取れた食材
が舌を楽しませ
てくれた。

宿を営む山口

正一さん(62)は「荒々しい
日本海と穏やかな五色の湖
の対比。雪景色や梅の花な
ど、春夏秋冬それぞれに楽
しめる」と、三方五湖の魅
力を語る。秋以降はハゼ釣
り、冬場はフグやカニを楽
しみに関東から訪れるリビ
ーターが多いという。
翌日は久々子湖畔のレー
クセンターから、四つの湖
を巡るジェットクルーズに
乗船。海水と淡水が混ざっ
た同湖や水月湖から淡水の
三方湖まで、変化に富んだ
湖面を約1時間かけて巡
る。昼食は前日のカップル
に話を聞いた時から気にな
っていたウナギと決めてい
たが、どこも超満員。仕方
なく、オープンしたばかり
という「美浜へしこ館」に
足を延ばした。

へしこは若狭名物の魚の
ぬか漬け。強く圧迫するこ
う意味の「へし」と「ぎ
こ(雑魚)」が一緒になっ
た言葉だという。サバ、イ
ワシ、フグ……と並ぶ中か
ら、サバのへしこ入りのお
握りを買う、帰り道にほお
張る。塩辛さと、ほのかな
甘みが口いっぱい広がる。
(多葉田聡、写真も)
(来週はトルコ・エディル
ネ)



サバ、イワシ、フグなどのぬか漬けが並び、観光客でにぎわう「美浜へしこ館」